



i-Reporter

導入事例

製造ラインの記録と蓄積データの電子化に i-Reporter を採用！
管理コストが減少、検索スピードが増し、分析効率アップを実現

(古河電気工業株式会社)

製造ラインの記録と蓄積データの電子化に i-Reporter を採用！ 管理コストが減少、検索スピードが増し、分析効率アップを実現

古河電気工業株式会社（非鉄金属製造） **古河電工**

古河電気工業株式会社は、光ファイバ・電線・ワイヤーハーネス等の製造を行なう非鉄金属メーカー。時代を先取りしながら技術の裾野を広げ、社会インフラの発展に貢献している企業だ。

同社では光ファイバ事業の製造工程管理に i-Reporter を導入。「紙から電子化へ」に取り組むにあたりプロジェクトチームを立ち上げ、IoT 系の展示会に足を運びチームで検討を進めた結果、「現場での記録から電子化する」ことに決めた。将来を見据えた考えをしっかりと持ち、それを現場と共有すること。使う側のニーズ、改善の要望をしっかりと聞き対応すること。講習会や動画、代理店のサポートを借りながら、継続してブラッシュアップできたことが、製造ラインへの浸透を早めた。



USER'S VOICE



光ケーブル製造部
生産技術課 課長
松元氏

以前は品質記録をすべて紙で保管し、エクセルへの転記を経て分析を行っていました。

i-Reporter を利用し、記録する段階から電子化できたことで業務効率の改善につながりました。

特に、**品質問題が発生してから、過去の品質記録の検索、原因の検出・分析のスピードが上がった**ことを体感しています。記録や集計スピードが上がった分、**製造データのビジュアル化や分析に時間をかけられるようになった**のも大きな価値です。

INTERVIEW

YouTubeでインタビュー動画を公開中！実際の活用事例や効果について教えていただきました。



検索にかかる時間は
1帳票20分から5分に削減



みんなが使えるソフト浸透を目指して・
i-Reporter 導入で作り出せた時間の活用

抱えていた課題・導入プロセス・導入後の効果は？ 詳細は次ページへ ▶

課題

膨大な量のデータを紙で記録・管理、 問題発生時の原因究明に時間と人手を要していた

- 作業日誌や設備点検記録表をすべて紙に書いて保管しており、**ファイリングするだけで毎月200分**もかかっていた。
- データの大部分が手書きのため、**集計の際はまずExcelなどへの転記が必要**だった。
- 帳票には年間で約15,000枚の紙を使用し、**保管スペースも膨大**だった。
- 品質問題が発生した際、紙の帳票から手分けして情報を整理する必要があり、**原因解明に至るまでのプロセスに数日間を要**していた。

品質問題が発生しているのに、数日間は対策を打てない。この業務プロセスの効率の悪さが、一番解決したかった課題でした。

(光ケーブル製造部 製造課 渡部氏)



導入

導入の決め手は“現場” 作業者が使いやすいかどうかを基準だった

ものづくりの要であり、**設備や製品に対面している従業員から出る情報から電子化する**ことで、集計や管理などの長い目で見れば効率がよいと考えた。展示会でi-Reporterを知り、導入の決め手となったのもやはり“現場”。まずは「**ユーザーである作業者が使いやすいかどうか**」を基準に選んだ。

— 決め手① —

これまでの紙の内容をそのままiPadに変換できるので、ツール変更における現場の負担を軽減できる

— 決め手② —

iPadであればファイリングされた紙よりも持ち運びやすく、現場で管理がしやすい

— 決め手③ —

「紙から電子化」の先に「設備データの電子化」も見据え、さまざまな情報を容易に融合できるツールを求めている

講習会や動画、代理店のサポートを借りながら、 一部ではなくみんなが使えるソフト浸透を目指す

導入時に役立ったのが、シムトップスが提供している「**i-Reporter基本操作講習**」の**オンライン動画**。繰り返し動画を見ながら操作を習得していった。自社の品質記録用紙をiPad用のテンプレートに置き換える作業は、**事務所に来てくれる代理店を紹介してもらい、テンプレートを作る過程を一緒にやってもらった**。

そうして操作をマスターしたプロジェクトメンバーから、徐々に製造ラインへ展開。**1日1時間程度のOJTトレーニングを約2週間行ない、ノウハウを広げていった**。実際に製造現場で活用するようになってからは、**入力時の困りごとを日々挙げてもらい、その日のうちに改善**することを心掛けた。

効果

より精度高く現場と繋がる i-Reporter 導入で作り出せた時間の活用

ファイリング

200分/月

0分/月

帳票の検索時間

20分/帳票

5分/帳票

保管スペース

15,000枚分/年

不要



以前は数日かかっていたデータ検索が速くなり、**アナログな情報を集める時間が無駄**だったと改めて感じていますね。

(光ケーブル製造部 生産技術課 竹内氏)